

(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+12.6%、前年同月比▲1.9%。売上高は前月比+11.6%、前年同月比+▲4%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

様々なコストの上昇が続いており、経営への負担が増している。また、他都市で見られるようなインバウンド特需については、特段大きな効果を実感できていない。

(繊維・衣服)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

当月の売上高は前年同月比で減少した。今後は閑散期に入るため、より厳しい経営環境が続く見通しであり、金利上昇や米国の関税措置の影響も懸念される。

広島県アパレル工業組合

労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策が義務化されたことにより、電動ファン付き作業服などの需要が高まった。

山陽テクノ協同組合

現在、仕事量は増加傾向にあり、技能実習生の人材確保については安定している。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全 国】

6月の新設住宅着工戸数は55,956戸で前年同月比▲15.6%、季節調整済年率換算値では647千戸(前月比+22.4%)となった。利用関係別では、持家は16,030戸で前年同月比▲16.4%、貸家は24,289戸で▲14.0%、分譲住宅は15,075戸で▲17.9%、また木造住宅は33,794戸で前年同月比▲11.9%であった。住宅着工動向の前年同月比は、持家、貸家及び分譲住宅とも3ヵ月連続の減少となった。木造住宅についても3ヶ月連続の減少となった。

【広島県】

6月の着工戸数は1,147戸で前年同月比▲7.4%、うち持家は278戸で▲27.8%、貸家は683戸で+19.2%、分譲は183戸で▲33.6%であった。県全体の住宅着工戸数の前年同月比は2ヶ月連続で減少し、延床面積も前年同月比▲20.1%となっており、木材需要の見通しは厳しい状況にある。新設住宅着工は戸数・床面積ともに減少しており、住宅向け木材需要は低下している。一部地域では非住宅関連や集合住宅の着工増加が見られるものの、その件数はわずかである。今後も住宅分野における木材需要の先行きは厳しいと見込まれることから、非住宅分野を含む木材需給の動向を注視し、国産木材需要の変化に的確に対応していく必要がある。

福山木材協同組合

改正建築基準法に基づく確認検査の厳格化の影響からか、例年よりも建築確認に時間を要し、着工に遅れが生じているため、着工数が伸び悩んでいる。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

材料費や人件費等の上昇分を取引価格に反映させる動きは、依然として緩慢である。業界全体では「価格の適正化」および「不合理な取引の是正」の推進を掲げ、官公庁からの受注案件を中心に、その取組を強化している。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から業況に大きな変化は見られない。業界全体としては、新規投資や事業拡大よりも、既存資源の有効活用と生産性向上が求められている。特に事務職(管理部門)においては、AI等の活用により業務の効率化を着実に進めることが重要である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・日用品関連分野では、原材料費をはじめとする各種コストの上昇分を販売価格へ十分に転嫁できていない状況にある。
- ・自動車関連分野では、生産稼働率が低下しており、今後はモデルチェンジや新車種投入に伴う増産による新規部品の受注量増加を期待している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
 - 令和7年07月 2, 319 m³ (前年比99.3%)
 - 令和7年06月 2, 143 m³
 - 令和6年07月 2, 336 m³
- ・令和7年度想定数量
700, 000 m³

広島県西部砕石協同組合

大型物件は出てきているため砕石や骨材の流通は増加傾向にあるが、人員不足により生産量が低下している。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+19.7%、前年同月比▲12%となった。日工会の記者会見では、受注総額は4ヶ月連続の1,200億円を超えたが、前年同月比では9ヶ月振りの減少となったことが発表された。

リョービ関連工業協同組合

米国向けだけでなくEUや中国向けも悪化し、先行きはさらに悪くなってきている。米国の関税措置が適用される8月以降は見通しが全く読めない状況になると思われる。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比+6%、前年同月比+18%となった。

●鉄鋼業

(鉄鋼業)

軀鉄鋼協同組合連合会

現時点で米国による関税措置の直接的な影響は比較的少ないと考えている。しかしながら、アメリカや中国などの主要輸出先における経済動向の変化やサプライチェーンの不確実性を踏まえると、間接的な影響が今後生じる可能性があるため、今後も情勢を注視し、必要に応じた対策を検討していく。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダは米国市場の追加関税により、売上減少が懸念される一方で、70万台レベルの生産台数の維持を宣言されており、生産数量の維持に期待したい。

(7月度自動車国内販売動向)

全需は364千台、前年同月比▲5.5%と7ヶ月振りに減少。(登録車は▲5.5%、軽自動車は▲2.6%と共に減少) マツダ車は+7.7%となった。(内訳:登録車+13.3%(9.5千台)、軽自動車▲7.6%(2.8千台))

(6月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,275千台で、前年同月比▲5.1%と4ヶ月振りに減少。マツダは▲6.5%と2ヶ月連続で減少となった。

欧州の全需は1,336千台で、前年同月比▲4.7%と再び減少。マツダは▲17.1%と3ヶ月連続で減少となった。

中国の全需は1,850千台で、前年同月比+7.1%と4ヶ月連続で増加。マツダは+5.1%と3ヶ月振りの増加となった。

マツダの6月の海外販売は、北米、欧州、アジアとすべての地域で落ち込み、合計台数は89.1千台、前年同月比▲8.5%と落ち込んだ。

(6月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年同月比▲14.3%と5ヶ月連続で減少。国内生産台数も▲11.5%と減少

となった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和7年6月の船舶建造許可実績は3隻、254,700総トンであった。（前月3隻87,700総トン、前年同月6隻172,700総トン）なお、内訳は、輸出船が3隻で貨物船であった。

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

- ・昨今の梅雨明けの早まりと猛暑による、売上や収支への悪影響が懸念される。特に食料品等の分野では、生産地が高温の影響を受けることで生産量が減少し、市場での品薄や価格上昇が危惧される
- ・資材や雑貨類においては、夏場の需要低下および各種価格上昇が重なり、全体的な物量がやや停滞している。また、この時期の繊維業では、バーゲン向け商品の販売に注力せざるを得ず、厳しい収益環境が続いている
- ・売上減少により資金繰りの逼迫が強まっており、とりわけ小規模事業者では事業休止に追い込まれる事例も散見される。加えて、後継者不足や先行き不透明感から、事業の縮小や休止も増加傾向にある

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

当月の売上高は、前年・前月比ともに上昇。梅雨明けが早く、エアコンの販売が好調であった。学校等でLED照明の更新が続いたため、照明器具の在庫不足となっている。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・7月度の中央市場水産部では、猛暑などに伴う消費の低迷が長引き、鮮魚の入荷量も減少したため、取扱高が前年同月比で減少した。また、近年はSNSを活用して市場情報を発信する水産物仲卸業者も複数現れており、新たな情報発信手段として注目されている
- ・7月度中央市場青果部では、取扱高が前年同月比で104.5%、入荷量は101%となった。野菜や果物両方の単価が上昇したことが、取扱高増加の要因となっている。

協同組合三次ショッピングセンター

当月の全体売上は前年同月比106%、客数は107%と増加した。しかし、連日の猛暑により昼過ぎの来客数が目に見えて減少し、その影響で月後半の伸び幅は想定を下回った。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和7年7月度販売実績99%（前年同月比）AV商品95%、白物商品108%、薄型テレビ96（内有機EL73%）、DVD62%、冷蔵庫101%、洗濯機100%、IHクッキングヒーター106%、エコキュート105%、エアコン112%、炊飯器107%、電子レンジ98%、掃除機101%。

販売会社の専門店支援が弱くなってきており、製品の品切れも多く、販売店は困惑している。

●商店街

呉本通商店街振興組合

「きらら夏フェスタ2025」と「アーケード支柱改修事業（5工区）」の実施が決定した。「きらら夏フェスタ」は毎年の恒例行事で、呉中央地区商店街の土曜夜市に合わせて実施し、地域の活性化を目的としている。

広島金座街商店街振興組合

来街者数は前年と比較して僅かに増加したものの、猛暑の影響により売上は減少した。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲9.2%、前年比▲1.3%
- ・車検場収入は、前月比▲12.9%、前年比▲0.4%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲2.1%、前年比+0.2%

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比40.5%、前年同月比113.3%となった。物件数はカーテンが前月比80%、敷物・壁装クロスが60%にとどまった。店舗、マンション、住宅ともに低調で、頭打ちの傾向が続いている。

福山地区電気工事業協同組合

7月分の受付件数は、290件と前年同月比で53%となった。2023年度・2024年度は官庁関係の受注があり件数が伸びたが、今年度は苦戦する見込み。

神辺建設業協同組合

受注数は微増したが、業況は大きな変化はない。物価高騰が続き、今後の見通しも悪い。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比、前年同月比ともに増加となった
- ・軽油価格に関しては、夏の需要増加により原油価格が上昇したため値上がりとなった

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・当月は売上と収益が増加した。今年度は固定資産評価の公的評価作業がある分収入は増加する見込み
- ・不動産市場では、新築工事が人材不足により遅延する状況が続いている。その影響により、戸建住宅および共同住宅の販売が減少傾向にある
- ・新築マンションについては、土地取得原価や建築コストの上昇により販売価格が高騰し、販売数が減少している。中古マンションの販売価格も依然として高止まりが続いている